



昨年、中学生の皆さんと、十勝・帯広のまちづくりについて話す機会があり、その中で新しい総合体育館の愛称に企業名が入っている理由について質問を受けました。話しながら少し難しいかも知れないなと思っていましたが、身を乗り出しながら耳を傾けている子どもたちから「権利が市のお金になるなんてすごい」「総合体育館の見方が変わった」といった感想をいただきました。

子どもたちの好奇心や吸収力、新しい知識を得た時の目の輝きに驚かされると同時に大きな可能性を感じ、とてもうれしく思いました。私が中学生の頃は、行動半径が狭く、周りの人たちから「これが合っている」「これは向いていない」などと言われるうちに、どこか自分自身を型にはめていたところがあったように思います。しかし、その後は札幌の大学に進学し、東京の企業に就職したのをきっかけに海外でも仕事をするようになり、新しい場所でさまざまな人たちに出会い、想像もしていなかった、たくさんの経験をすることになりました。

**予告**  
100周年を記念して  
さまざまなイベント開催予定

開館100周年を記念して、図書館では1年を通してさまざまなイベントを実施する予定です。

「おめでとう100年 ありがとう100年」というキャッチフレーズのもと、子どもから大人まで、幅広い年代の人に図書館を楽しんでいただける企画を検討中です。ぜひ図書館にお越しください。



▲図書館ホームページはこちら



年月日	帯広市図書館の変遷
大正 5年 6月 1日	前身である大典記念帯広図書館が開館
大正 9年 12月 2日	町立大典記念帯広図書館として発足開館(帯広町字西3条6丁目2番地)
昭和 5年 3月 2日	十勝会館内(現在の西5条南9丁目2番地)に移転開館
昭和10年 4月 1日	市議会の議決により大典記念図書館となる
昭和19年 2月 2日	帯広治水現業事務所跡(現在の西4条南6丁目1番地)に移転開館
昭和22年 10月 28日	十勝公会堂(現在の西5条南9丁目1番地)に移転開館
昭和23年 6月 1日	十勝会館内に戻る
昭和25年 8月 1日	帯広図書館が西5条南9丁目に完成、開館
昭和38年 3月 30日	帯広市図書館の名称となる(図書館法に基づく図書館)
昭和43年 8月 21日	西7条南7丁目に移転開館
平成18年 3月 3日	現在の場所(西2条南14丁目)に移転開館
平成28年 3月 3日	新図書館開館10周年
令和 2年 12月 2日	町立大典記念帯広図書館として発足開館から100年

大正9年に私立図書館から市立図書館へ

図書館は、もともとは大典記念帯広図書館という私立の図書館でした。建物と蔵書が帯広町に寄贈され、町立大典記念帯広図書館が誕生します。この時の蔵書冊数はわずか1000冊程でしたが、一世紀の間に55万冊の蔵書数となり、充実した資料を市民の皆さんに提供できるようになりました。

(大典記念帯広図書館)

帯広市図書館は12月2日で開館100周年を迎えます

帯広市図書館の前身となる町立大典記念帯広図書館は、帯広町字西3条6丁目2番地に建てられ、北海道立図書館の開館よりも6年も早い、大正9年12月2日に開館しました。

その後、移転を繰り返し、14年前の平成18年3月3日に現在の駅前の立地となり、市民はもとより、十勝圏の拠点図書館として多くの皆さんにご利用いただいています。

(現在から2代前の図書館)

**市政のお知らせを放送しています**

- ◆テレビ 市役所だより(OCTV11ch) 毎日4回放送していて、市ホームページからもご覧になれます。
- ◆ラジオ(毎週月・水・金曜日) おびひろタウンインフォメーション(FM-JAGA77.8MHz) 9:15~9:20 おびひろ広報メモ(FM-WING76.1MHz) 9:30~9:35

**広報おびひろの感想を聞かせてください**

最後まで読んでいただきありがとうございます。よりよい広報紙にするために「こうした方が読みやすい」など皆さんの感想をお聞かせください。

**問い合わせ** 広報広聴課(市庁舎3階、☎65・4109、FAX 23・0156、Eメール report@city.obihiro.hokkaido.jp)